だ液とでんぷんの実験

問題｜調べているのは、何？

同じでんぷんの液を、同じ量ずつ試験管AとBに入れました。
Aにはうすめただ液、Bにはその代わりに同じ量の水を加えます。
同じ温度で、同じ時間だけ置き、それぞれから少量を取って、
同じようにヨウ素液を加えました。

A：だ液を加えた → 青紫色にならなかった
B：水を加えた　 → 青紫色になった

問1　Bを用意したのは、何を確かめるためでしょう？

問2　この結果だけで「Aには糖ができた」と言い切れますか？
　　理由も書いてください。

紙上で条件と結果を読む問題です。家庭での実験は不要です。

解答は2ページ目。先に自分の言葉で説明してみましょう。

答えと考え方

問1　だ液を加えない場合と比べるため

だ液を加えなくても、同じ温度・時間ででんぷんが変化するかを
比べるためです。違いをだ液の働きと結び付けるには、だ液を
加えない場合も確かめる必要があります。

問2　言い切れません

ヨウ素液で分かるのは、でんぷんの反応が見られるかどうかです。
糖ができたかは、ベネジクト液を使うなど、別の方法で確かめます。

「なくなったもの」と「できたもの」は、分けて調べる。

見直しのポイント

・だ液を加えた場合と、加えない場合を比べた。
・ヨウ素液が何を調べるかを説明した。
・ヨウ素液の結果だけで、糖ができたとは決めなかった。

授業・解説：木ノ下翔

2026年10月12日 早朝LIVE人体編 第3回を基にした編集問題です。

授業の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

無料動画と問題のページへ（クリックして開く）